

下水道への接続のススメ

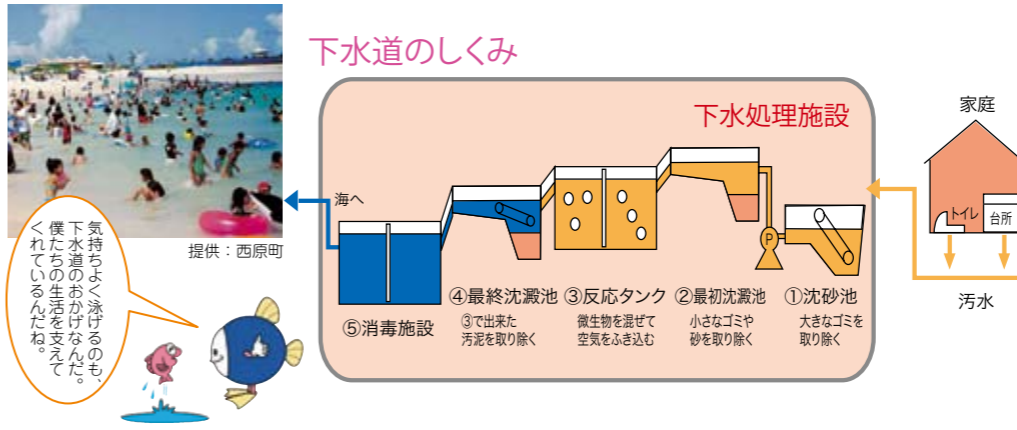
私たちが豊かな生活を維持していくためには、自然環境との調和を図る必要があります。そのためにも生活排水や汚水等を運搬、排水、処理するシステムが必要です。下水道はその役割を担っています。

下水道の役割

下水道には四つの役割があります。
①生活環境の改善：街中の水路がきれいになり、清潔で快適な生活環境になります。
②街の安全・安心：大雨の浸水から街を守ります。
③水質環境の保全：汚水を処理場できれいにし、川や海に戻します。
④資源循環型社会の確立：処理水・汚泥など利用可能な資源となります。
下水道は、私たちの生活にとっても重要で、快適で安全な生活を送るためには必要なものです。

汚水がきれいになるまで

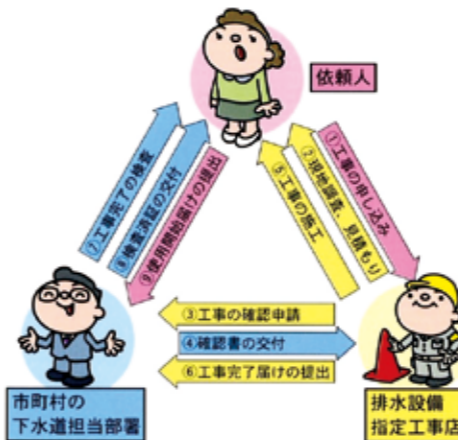
汚水は、排水溝から下水道管（排水管）へ入り、下水処理場へと送られます。処理場のいくつもの施設を通り抜ける間に、汚水はきれいな水に生まれ変わり、海や川に放流されます。また、下水処理の過程で出来た汚泥（汚水から取り除かれたゴミ等）は、土壌改良材としての農地利用やバガス等と混ぜて肥料を作るなど再利用しています。



下水道に接続しよう

公共下水道が完成して供用開始の公示がされると、各ご家庭と公共下水道につなぐ排水設備工事を速やかに行ってください。特に、汲み取り便所は公示後三年以内に水洗トイレに改造することが下水道法で義務づけられています。

また、浄化槽を利用されているご家庭でも、公共下水道につなぐための工事を行わなければなりません。水洗便所改造資金については、下水道事業を実施している各市町村にて資金の貸付、融資の斡旋等の制度がありますので、詳しくはお住まいの市町村下水道担当課までお問い合わせください。



平成20年度市町村別接続率ランキング

順位	市町村名	接続率	順位	市町村名	接続率
1	竹富町	100.0%	13	本部町	77.3%
1	渡嘉敷村	100.0%	14	南風原町	76.6%
3	那覇市	98.7%	15	うるま市	73.4%
4	宜野湾市	97.4%	16	読谷村	67.2%
5	北谷町	97.2%	17	宮古島市	58.1%
6	浦添市	96.5%	18	与那原町	54.3%
6	嘉手納町	96.5%	19	久米島町	52.3%
8	名護市	94.0%	20	石垣市	48.4%
9	座間味村	86.3%	21	北中城村	42.2%
10	糸満市	82.2%	22	西原町	41.1%
11	沖縄市	81.1%	23	南城市	41.0%
12	豊見城市	80.5%	24	中城村	23.7%

平成21年3月末 県内平均 87.9%
※接続率は、各市町村の下水道利用可能人数に対して、実際に下水道に接続している人数の割合を示します。

九月十日は「下水道の日」

県では、下水道への関心と理解を深め、協力を得ることを目的に毎年九月十日「下水道の日」を中心とした一週間を下水道週間と定め、式典やパネル展を実施しています。

【日時・場所】
九月七日(月)午後四時～パレット久茂地前ひろば
下水道式典やバガス肥料、グッツの配布及びパネル展
九月七日(月)～十一日(金) 県庁一階県民ホール
パネル展

かけがえのないあなたへ ひとりでなやまないで！ ～沖縄県自殺予防キャンペーン～

沖縄県では、自殺による死亡者数が平成十年以降毎年三〇〇人台を推移し、深刻な状況が続いています。特に三十代から五十代男性の自殺死亡者数は、全死亡者数の約六割を占めており、中高年の自殺死亡者数を減らすための取り組みが求められています。

自殺の原因・動機

平成二十年度における本県で発生した自殺の原因・動機は「健康問題」が最も多く、次いで「経済・生活問題」「家庭問題」となっています（出典：警察統計）。特に「健康問題」についてはうつ病との関連が、また「経済・生活問題」については多重債務との関連が指摘されています。

自殺予防の取り組み

県では、平成二十年三月に沖縄県自殺総合対策行動計画を策定し、自殺の実態把握調査、自殺に関する講演会や研修会の開催など、自殺を予防する取り組みを行っています。また、自死遺族（家族を自殺で亡くされた方）の「分かち合いの会」を設立し、「遺族が安心して自らの痛みと向き合うことができる場の提供」などの支援も行っていきます。

自殺予防キャンペーン

国民にひろく自殺予防に対する関心を持ってもらうため、毎年九月十日から十六日を自殺予防週間とし、全国各地で様々な行事が行われます。本県でも九月を自殺予防キャンペーン期間として、自殺予防対策講演会、多重債務の問題とこのころの健康問題についての無料相談会を行います。

【自殺対策講演会・入場無料】

- 日時 九月二十六日(土) 午後二時～四時
- 場所 国立劇場おきなわ大劇場
- 講演者 布川敏和氏(タレント)
- 講師 仲本晴男
- 県立総合精神保健福祉センター所長 《お問い合わせ》
- Tel 098-888-1443

自殺のサイン(自殺予防の十箇条)

- 「うつ病」の症状に気がつける
- 原因不明の身体の不調が長引く
- 酒の量が増す
- 安全や健康が保てない
- 仕事の負担が急に増える、大きな失敗をする、職を失う
- 職場や家庭でサポートが得られない
- 本人にとって価値あるものを失う
- 重症の身体の病気がかる
- 自殺を口にする
- 自殺未遂におよぶ

- 【多重債務とこのころの健康相談会】
- 相談日時 九月二十九日(火)午後二時～八時 九月三十日(水)午後二時～八時
- 場所 男女共同参画センター 《お問い合わせ》
- 県民生活課 Tel 098-866-2187

自殺は、社会努力で防げるものではありません。つらいことがあればひとりで悩まず、相談してください。また、家族や周りの人々が苦しんでいる人の自殺のサインに気づき、早めに専門家に相談するよう促すとともに、温かく寄り添いながらじっくり見守ることが自殺を予防するために最も大切なことです。まず、県民一人ひとりができることから始めていきましよう。

○経済問題等に関する相談

相談機関	電話番号	受付時間
貸金業苦情相談室 (県民生活課内)	098-866-2310	月～金(祝日除く) 9:00～17:00
県民生活センター	098-863-9214	月～金(祝日除く) 9:00～12:00、13:00～16:00
宮古分室	0980-72-0199	
八重山分室	0980-82-1289	

○このころの健康に関する相談

相談機関	電話番号	受付時間
総合精神保健福祉センター (こころの電話相談)	098-888-1450	月～金(祝日除く) 9:30～11:30、13:00～17:00
北部福祉保健所	0980-52-2734	月～金(祝日除く) 9:00～11:30、13:00～16:30
中部福祉保健所	098-938-9700	
南部福祉保健所	098-889-6945	
中央保健所	098-854-1008	
宮古福祉保健所	0980-72-8447	
八重山福祉保健所	0980-82-3241	毎日10:00～23:00
沖縄いのちの電話	098-888-4343	

お問い合わせ ●県障害保健福祉課 TEL.098-866-2190 FAX.098-866-6916

お問い合わせ ●県下水道課 TEL.098-866-2248 FAX.098-866-2394